

<p>委員</p>	<p>ちは恵まれている、それらを活かせばもっと学力がつくと思う。先生方は忙しいだろうが、環境を活かした子どもたちの発言を引き出す、関わらせればもっと子どもは色々な考えを示していく、練りあっていくというものが生まれてくる。それが小中一貫教育の姿ではないかという気がする。色々な点で勉強になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段見たことのない特別教室などを 見学したが、備品も充実し、しかもきれいになっていた。 ・図書室がすごく充実していて、司書からも話を聞いたところ日野町図書館とも連携し本の入れ替え、児童の要望する本を持ってきたりされていた。 ・中学校では中学生向けの新聞があったりした。 ・教室の雰囲気はデータでも示されていたとおり、子どもの数が少ないという印象だった。高学年はそれなりに多いが、下学年にいくにしたがって教室にまばらだという印象が強かった。自分が子どもの頃の様子とはかなり違っていて、子どもたちか少ない状況だということが分かった。 ・そんな中でも、中学校のソフトテニスが強くてトロフィーや旗や写真が飾ってあり良いと思った。 ・黒坂小は自然環境の展示物がたくさんあり、歩いていて楽しかった。また学校が住宅に囲まれている雰囲気がとても良かった。地域の中に学校があるという印象をうけた。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・以前より子どもがどんと少なくなったと痛切に感じた。各学校とも自分が教育長の時代よりすごく落ち着いて規律正しくなっていた。授業終わりの挨拶も含めて規律が守られていた。 <p>残念なのは子どもが少なくなり、これで学校運営ができるのかということが不安。</p>
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方が丁寧に教えている感じがした。 ・書道の作品を見てとても上手だったので、国語に力を入れているのかなと思った。 ・黒坂小では絵が上手かったので、5教科以外の美術、音楽にも力を入れているのかなと思った。 ・情操的教育について取り組むきっかけとなっている。 ・3歳未満児のお母さんが集まる部屋があり、情報交換できて良いと思った。日野町は小さい時から繋がっていると感じられた。 ・黒坂小1年生がひとりだったのが衝撃的だった。友だちがい

課 長

たらしいのになと感じた。保育所で一緒だった子たち8人が小学校で別々になり、小学校交流後にひとり黒坂小に帰るのを見たときはグッときた。どこかで交流が続いたらいいなと思った。

・保育所は木の柱があり良い建物で良い保育をされているなと思った。残念ながら子どもが少なく、国、町全体の問題であり何とかならないかと感じた。

・学校は理科室、音楽室、家庭科室を含めてきれいに整備されていると思う。

・事務局から資料の説明をお願いします。

・義務教育学校のメリット、デメリットが分かる資料を準備してほしい要望があったので、資料2-1～2-4を準備した。

・資料2-1 鳥取市作成

「義務教育学校のメリット」

○独自教科の設定、指導内容の入れ替えなど柔軟な教育課程を編成できる。

○学年の区切りを柔軟にできる。

○小中の教職員が、一人の子どもの9年間の成長を確認しながら教育できる。

○上級生（中学生）が下級生（低学年）の良いモデルとなる

○小・中学校の教職員間で互いの良さを取り入れる意識が高まり、指導力の向上につながった。

「小中一貫教育の課題」

○小中の教職員間での打ち合わせ時間の確保

○教職員の負担感・多忙感の解消

○小学校高学年のリーダー性、主体性の育成

○児童生徒の人間関係が固定化しないような配慮

「義務教育学校になっても残る課題」

○同学年の児童生徒数は変わらない

○部活動の選択肢が増えない

○節目がつきにくい

・資料2-2

全国小中一貫校、義務教育学校から抽出し聞き取りしたもの
成果 たくさんある

課題 児童生徒の人間関係の固定化、前期課程高学年のリーダー性・主体性など

・資料2-3 年度初めのPTA総会で用いた資料

生徒指導、学習指導、教職員について「期待される効果」と

	<p>「課題」が挙げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料 2-4 平成 24 年文科省初等中等教育分科会での意見 義務教育学校が制度化される前の協議
<p>会 長</p> <p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○義務教育学校制度の創設に賛成との意見 義務教育を一体的に捉え 9 年間で児童生徒の学力向上を 図っていく観点からは、義務教育学校制度の創設は極めて 自然ではないか 9 年間の学年区分については、学習指導要領を満たしなが ら、設置者が判断できるようにする 教育課程上の無用な重複が省略できるのであれば、義務教 育学校制度を創設する意義がある 新しい町作りをする地域においては義務教育学校を導入 してもきめ細かく配慮することができてよい ○義務教育学校制度の創設には慎重であるべきとの意見 児童生徒が 9 年間の途中で挫折した場合、学校が変わること による再チャレンジの機会がない 学びが拠点である学校の数が地域で減っていく 中 1 ギャップの解消、学力向上、コミュニティの育成、小 規模校の活性化が、義務教育学校制度の創設により課題解 消されるとは思えない 人間関係が固定化し、新たに出発する機会が失われること により閉塞感を感じられるのではないか ・義務教育学校を導入したところからの意見は、成果はあるが 課題はあまり挙がっていない。しいて挙げられた課題を解消 する取り組みをしているため成果が多くなっている。 ・答申に盛り込むべき事項についてそれぞれの考えをお願い したい。 <p>今までの協議内容、保護者意識調査結果、保育所・学校視察、 義務教育学校のメリット・デメリット等を踏まえて、保育所、 小中学校の教育をどのように進めていったらよいか、日野高 校との連携をどうするか意見を述べていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日野町教育委員会の流れは、15 年前に日野町の子どもを考え る会が立ち上がり、その当時は当分の間統合はしないという 答申が出ていた。その後大幅な子どもの減となり、現状とし て子どもたちがどんどん減っている。教育委員会としてどう するか議論をしかけたが、当時の町長は自分は統合しない、 周りから求められたらするという方針があったので統合の 議論にならなかった。ただ教育委員会としては毎年 PTA 等と

	<p>協議してきた経過がある。</p> <p>今回のアンケートのように統合したくない、統合すべきという意見がずっと出ていた。</p> <p>小規模校の良さを生かして、先生やPTAが努力されて現状維持されているのは間違いない。</p> <p>黒坂小の1年生が一人の授業を見て、本当にこれでいいのかと感じた。それらを含めてある程度の方向づけは今回出した方がよいと思う。</p> <p>アンケート結果によるとまだ統合などの方向にならないのかと思うが、自治会長会議など一般町民からもまだ統合しないのかという意見がずっと出ている。</p> <p>そのような状況を含めても今回結論を出すべきだと思う。</p>
<p>会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今述べられたことは、第1回の資料にあり平成19年に「日野町子ども育成会議」があり当面は現状のままでという結論だったが、平成29年日野町教育大綱では、日野町の教育のあり方について教育委員会としては保護者の意見を含めながら協議していくとされている。 <p>児童生徒の数が急激に減ってきており、6年後は中学校の生徒数が7割減の見込みとなり以前とは大きく変化している。</p>
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日野町の子どもたちのために話し合っているが、保育所の運動会が終わり、年長はお昼寝を止めて小学校入学の準備をしている中で、自分の子が黒坂小は5人で根雨小は8人入学するので根雨小に行きたい、8人の方が多いのでみんなで一緒に根雨小行けたらいいのにと話し合っているようだ。子どもたちなりに考えている。 <p>保育所、中学校は一つで小学校は二つ、小学校の保護者と話すとき、自分たちも子どもと小学校入学する時に話し合ったが、二つの校区で違う校区の友だちが仲良くて、中学校で一緒になってから、6年間のギャップはなかなか埋まらない様子を見てきたので、早く統合するよう話し合っほしいという声もある。</p> <p>子どもたちにとって6年間のギャップはつらいのかなと思う。多感な時期の6年間のギャップは大きい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回から参加するが、自分の子が保育所から中学校までいて今年小学校1年生が、黒坂1人、根雨7人の中に該当して、黒坂小の1人の子が寂しい思いをしていることは子どもから聞いている。 <p>中学校で一緒になってしばらくすれば馴染んでくるが、6年</p>

<p>委員</p>	<p>間は長いという印象。一貫校も魅力はあるが、現状の保育所、小中学校での取り組みや、環境も良いと個人的に思っている。小学校が一緒になって今取り組んでいること全てをすることは時間的にも難しい、それぞれの小学校で取り組んでいる良いところがなくなるのはどうかと思うが、子どもの人数が少なくなってくると可哀そうだなという気持ちもある。ただアンケート結果をみると方向性が一つになるのは難しいと感じる。審議会や町として覚悟して方針を決めていくことが必要ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回～5回すべての審議会に出席し、視察にも行き、町内の保育所、学校にも行ってきたが、自分の考えもそろそろ決めないといけない時期だと感じている。 <p>アンケート結果も出たが、自分としては義務教育学校を答申に盛り込むべきだと思う。</p> <p>小学校が一つになっても将来的には少人数となり、中学校とひとつの校舎で一緒に学んでいることをイメージすると、小学校一つ、中学校一つではなく、義務教育学校となることがふさわしいのではないかと思っている。</p> <p>義務教育学校の課題もあるが、事前に解消する取り組みもでき、心の準備もできる。工夫や周りの地域の協力があれば、解決できる課題だと思う。義務教育学校になったからといって、世代間交流や地域交流ができないわけではない。</p> <p>新しいまちづくりとして、義務教育学校に取り組んでいくという答申でよいと思う。</p> <p>今ある学校を活用することとなると、校舎、体育館、グラウンドなど必要な規模を考えて、日野中学校とか根雨小学校を活用するのがよいのではと思うが、どこを活用するかははっきり言えない。</p>
<p>会長 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年には小中の児童生徒を合わせて100人になる。 ・小学校と中学校が別々にあるメリットは、小学校6年卒業した後にリセットできること。固定した6年間の人間関係を崩すためには、二つの小学校であることだが、裏を返せば中1ギャップとなり、メリットでありデメリットである。 <p>自分はメリットだと思うが、これだけ少人数になるとデメリットとなってきたので、まず小学校を一つにすることは致し方ないと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校にするには、本気で取り組まないとただ単に一つにただけとなり、悩ましいことと思っている。

委員

システマ的には新たな科目が創設できるが、誰もプランがないままだと何もしないままになってしまう可能性がある。校長が作っても交代すると変わってしまうので、町教育委員会が作るのか、長期的なプランがないとただ単に一つにしたことになってしまう。

鹿野学園や湖南学園が目的をもって5・4年制や4・3・2年制にしているが、義務教育学校ありきでどうしたらよいか考えるのは不安が残る。

日野町の子どもたちをどのようにしていくか決めたいうえで、義務教育学校を考えていかないと危険だと思う。

義務教育学校がだめではないが、十分な準備が必要。

- ・施設、場所については、新校舎は財政的に無理だろうから、小学校が一つになる場合は、どちらかの校舎になるが、中学校PTA執行部会で根雨の保護者からは、黒坂にバス通学するのも経験となっていいと思うという意見があった。

大きい方になると考えがちだが、黒坂小に小学生全員が通うようになっても十分対応できる施設であるので、場所については決めかねる。ただ小学校は一つにした方がよいと思う。義務教育学校となる場合は、日野中学校の施設以外はないと思う。増築は必要だが中学校の施設を使うのが現実的。

- ・校区審議会1回からすべて出席しているが、一体型の義務教育学校となるのがよいという方向で進んでいると感じた。

場所については、財政的な面や、地域の中に学校がなくなるのは拠点がなくなるので慎重に考えなくてはならない。

保護者アンケートでは71%が統合か、義務教育学校を希望している結果となっている。現状より一步踏み出す方向がよいという民意もあるが、黒坂小保護者の59%が現状がよいと回答していることは大事に考えるべきこと。

数年すると中学校1学級が30人を切り、小学校も20人を下回る推計が出ているため、急いで新しい学校を作るべきだと思う。

- ・義務教育学校は研究と工夫が必要だと言われたが、会長が前回、夢を持つこと、住んでいる人が希望を持つことが大事だ、みんなで応援できる学校を作ることがよいと言われた中で、新しい義務教育学校の中身とか、メリットを最大限に活かしていく工夫が必要ではないかと思う。

総合すると、施設一体型の義務教育学校を答申に盛り込んだ方がよいと思っている。

<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートについては、執行部会では伝えたが、保護者全体にはまだ伝えておらず、参観日に話をして意見を聞く予定。黒坂小保護者のアンケート結果は予測されたものだったが、小学校入学前の子どもたちやその保護者の考えは、前の委員と同じだと思う。 <p>それぞれの良さはあるが、1年生が1人である状況は、いつ学級がなくなるかわからない危うさもあり、統合した場合はひとケタになる場合もあるが学級が欠けることはない推計となっている。9年間をまとめても中学校の生徒数がどんどん減少し吸収しきれない状況が資料から読み取れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合する方がよいと思うが、義務教育学校にするかどうかは、湖南学園もある程度時間的スパンにおいて現状の形に収まっている状況を見て、保護者や地域の方の合意形成を図れる時間的ゆとりを持ちながら、義務教育学校に移行していくべきではないかと考える。 <p>学校が地域からなくなることは、喪失感など多大なものがあり、黒坂地区の方と話しをするとひしひしと感ずることである。それでも義務教育学校とするためには、地域の方に納得していただくことが必要であり、時間をかけていくべきだと思う。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そろそろ自分なりの結論を出さないといけないと資料をみせていただいた。結論としては施設一体型の義務教育学校がベターではないかと思う。 <p>平成18年度、町P協で当分の間統合しないという中で、中1ギャップをいかに取り除くか、2つの小学校と中学校の連携をどうするかということで、当時小中連携教育を進めるために、中学校から英語と数学を各小学校に行って授業をしてもらった。</p> <p>ただ先生も忙しく、距離も長いのでなかなかできない、時間調整が難しい。</p> <p>当時の町長は在任中には統合しない、日野町の教育を進展しなさいということがあり、平成22年度に小中一貫教育の9年間のプランを立て、また小学校入学時のギャップを取り除くため、小学校の先生に1年間保育所へ研修に行き、次年度は1年生の担任をする保小中一貫教育に取り組んだ。支援員が保育所と小学校に勤務して保小のギャップを取り除く取り組みも行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の先生が中学校に行ってTTを組むことは理想だが、

<p>委員</p>	<p>難しい。ALTを導入して取り組んだが、実際は分離したまま行うことは時間的にも難しい。</p> <p>子どもの数が減り、1対1で授業して子どもの力量をどこまで広げられるのか考えると問題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21年から取り組んだ日野町子ども15年プランを活かした、1から3までの諮問が教育長から示されている。 <p>小学1年生が中学3年生をみていく中で何かを学び関わり、人間性が育っていくのではないか、その良さを活かすために諮問1から3について審議会で意見を集約していったらよい。課題はあるが施設一体型義務教育学校を考えていくことがよいと思う。</p> <p>ただ兼務発令に疑問をもっていて、免許があるだけで小学校の先生が中学校、中学校の先生が小学校で教えるのはどうか。研修をしてその問題をクリアして、子どもにとってプラスになる教育のあり方を考えていけたらよいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 5回審議会に参加し、自分の考えも変わってくる部分もあった。最初は統合しないで地域の中で良さを活かしながら、子どもたちを教育していくにはどうしたらいいのか考えて、自分自身もやってきた思いもあった。特に保育所保護者の意見を聞く中で、義務教育学校というワードが出てきた。施設一体型の義務教育学校の中で、今ある学校の良さを活かし、たくさんのメリットを上回るメリットがあるからこそやっていくのだと思う。 <p>黒坂と根雨の良さを活かした施設一体型の義務教育学校の夢を、他所からも人が来るような義務教育学校にする夢を、大きな枠組みの中で進めていくことがよいのではないかとと思うようになった。</p>
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 江府町は施設分離のまま、義務教育学校へという校区審議会での話はしているが、できれば施設一体型がよい。財政的なことを考えると難しいことではあるが。 体制としては新しい学校をつくるのが、日野町の子どもたちの教育に良いという方向に進んでいると感じた。 <p>2つの小学校を視察して、小さいながらも行き届いた教育をされていると思った。しかし、子ども数が少ないということは難しい部分がある。子どもの一番の先生は子ども、同級生や上級生に感化され伸びる部分もたくさんある。</p> <p>黒坂小の1年生が1人だったのは衝撃的だった。保育所から別れていったことが、せつないと思った。一人で小学校6年</p>

間育つことが大人の責任としていいのか、学校としては学年を越えた交流で工夫しているが、全体的に児童生徒数が少なくなりこのままでよいのだろうか。

中学校も平成 30 年には全校で 30 人となり、むしろ早く対応しなくてはならない時期がくる。

町に学校を残すためには、9 年一貫校、できれば保育所も近くに置いて長期的に子どもをまとめて育てていくのがよいのではないかという感じがした。

それぞれの学校の特徴を活かしながら、もう一步階段を昇った夢のある学校を日野町で実現できるのではないかと強く思っている。

- ・新しい科目を誰が作るか、校長が決めるのではなく、どういう教育をするか地元の方々、PTA、学校、教育委員会が一体となって計画を立てていく。

学校の存在そのものが、こういう教育をするために作られるのだということを、地元の方々と何度も話し合っていく。

- ・世の中も大きく変わり、外国人も増えてくるが、人口は減っていく。日野町を支えていく子どもたちは、他所から来る大人だけを期待せず、日野町で育った子どもたちが半分は残り、半分は町外で活躍してもよいが、日野町に誇りを持つような、郷土を愛することができる科目を作るべきだと考える。英語の教育も必要だか、例えば日野町は鉄の町であったので、歴史、地理、地形を学び、実際にたたらをやってみるような科目を、町ぐるみで立てていくこともできるのではないかと思う。外国人を招いて英語で説明ができるようにすることもできる。

- ・日野町の特徴として高校がある。日野町の学校の子どもたちと共に、日野高校の生徒にも特徴のある教育がもたらされる。小学校と中学校が別だと、新しい教育の限界がある。一体となって伸びていくことが新しくなる感じがする。

- ・保育所はとても良い施設だと思う。真ん中に大きな木の柱がありすばらしいと思った。ただ、場所が川に近すぎて低いかなと思う。いずれは保育所も含めた、連携し 1 か所で教育をする考えを持ったらどうかと思った。

- ・平成 19 年の指針、昨年度の教育大綱はよくまとめている。思い切ってステップを上げて、日野町を支える子ども、県外でも活躍できる力、日野町を愛する心を子どもたちに教育していくべきではないかと思いをもちた。

<p>委員</p>	<p>どちらかの小学校は無くなるが、それを発展させる形で皆さんに理解していただいたくのがよいと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分としては義務教育学校として進めていきたい。PTA と話しをしたときに、小学校は統合してほしくないが、新しい学校であれば検討したいという意見があった。 <p>保育所保護者からは、小学校で別れることを子どもが悲しんでいるという話もあった。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の中学校も 2 校の小学校から進学していて、200 人から 400 人になるためかなりの中 1 ギャップがあり、リセットというよりリスタートといった感じだった。 <p>どの学校でもメリット、デメリットはあるが、デメリットを解消したいという思いの中で、自分も移住してきて今までの当たり前は当たり前ではない、壊しながら進み、進みながら悩んできたことが、学校のあり方を考えることとかぶっている。</p> <p>人口が減っていく、人口増が見込めない中では早く施設一体型の学校がよいのではと思う。</p> <p>財政的なことから新しい施設は難しいので、今あるものを活用するしかないのか。保育所、小中学校、高校が結びついたら強い。黒坂の日野高校を借りて授業する話を行政としてできないか。黒坂、根雨のどちらであっても、定期券で電車を通う経験もワクワクする。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 義務教育学校に向かっていくイメージがある。 <p>自分の時も保育所、小学校、中学校で一緒になるときにギャップがあった。現在は以前より多少ギャップは少ないがやはりあるもの。固定化の弊害はあるだろうが、ギャップの解消や児童数の減少を考えると一緒になるメリットの方が大きいと思う。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 場所のことはどういった形になるのか、どのようにまとまるのか、財政のことは大切なことなので、考慮に入れるべきことだと思う。黒坂地区か根雨地区かまとまりにくい、校区審議会においてふさわしい場所を選ばないといけない。 <p>ハード面では日野中が良いと思うが、場所的に危ない交差点や踏切を渡ると思うと心配はある。</p> <p>湖南学園は 5～10 年かけてきちんと学校の計画を立て、話し合いをされてきたので、施設一体型義務教育学校に向かう場合は同じように時間をかけていくべき。</p> <p>通学路の安全の確保を考えて、場所の選定をする必要があ</p>

<p>委員</p>	<p>る。</p> <p>また使われなくなった学校をどうするかが心配である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが少なくなったので小学校を一つにしないといけない。だが少なくなったので義務教育学校にするというのは、自分の中でストーンと落ちない。 <p>小学校が統合するのは子どもの数が増えるのでメリットがあるが、義務教育学校にしても数は変わらないので、小学校と中学校が一緒になる理由が自分の中でストーンと落ちない。ただ、小学1年生が中学3年生を見て学ぶものはあると思う。</p> <p>日南町は小学生と中学生が同じところに通うので、小学生が中学生を見る目、中学生が小学生に対して大人らしく振舞う姿が非常にあると感じる。一つのメリットである。</p> <p>他にメリットがもっとないと、なぜ義務教育学校になったか尋ねられた時にきちんと答えられない。その辺を確認したいと思っている。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夢を語ることが頭の中にある。 <p>日野高校の黒坂校舎は、300mのグラウンドや農業体験施設、体育館、城跡まである。活用できればおもしろい学園ができている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日野町は6年生がふるさと教室を行っていて、国の重要文化財や素晴らしい歴史があること、小生物やおしどりなど素晴らしい自然もある、優れた人物も輩出されていること、また色々な産業について学んでいる。9年間となれば、計画的なふるさと教育、キャリア教育を仕組むと良いプログラムができる可能性が高い。 <p>6年生の修学旅行で、外に出で日野町の良さを色々な人にアピールし、中学3年の修学旅行では集大成として日野町を売り込む戦略を位置付けて体験的なキャリア教育もできなくはない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いがもっと交流する活動をすべき。 <p>ほこすぎ教室で中学校に行っ部活動を体験することを一番楽しみにしている。9年生になれば、6年の2学期から長い期間体験できるし、自分の思いや交流の中で生きる道探るのではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館司書は小学校2校を掛け持ちで、中学校と保育所を掛け持ちで配置されているが、1校となれば2名常勤となりすごい教育ができるという夢がある。

<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校5・6年生から教科担任制を取り入れることで、幅広い教育ができる義務教育学校が夢膨らむ教育ができるのではないかと考えている。 ・義務教育学校について日野町は後出しジャンケンをすべき。他市町村で色々取り組んでいるが、日野町の状況や子どもたちのことを考えたとき、日野町に合った区切りはどうかをしっかりと見極めたうえで決めていく。 <p>部活動についても中体連の大会には中学校相当しか出場できないが、6年生は中学校に行きどう関わっていくのか。9年間の長いスパンの中で、目的意識を持つためにも節目が大事。湖南学園も小学校段階で研修旅行をして、意図的に節目を作っている。</p> <p>戦略的に考えるとしっかりと周りの様子を見ながら、時間をかけてより日野町に合った形にカスタマイズしていくべきだと思う。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題はあるが施設一体型の義務教育学校としていくという皆さんの意見だった。 <p>5・6年生が部活動体験してみることで学ぶことも多いと思う。子どもたちが1年～6年まで学ぶことは多いと思うが、施設一体型だが間仕切りを作らないということを考えておくべき。小学校と中学校の先生が、子どもと共に学んでいく、指導していく意識が重要なこと。</p> <p>先生が一緒になって、TTのあり方や課題について義務教育学校ができるまでに取り組むべきではないか。</p> <p>子どもや先生が考え方を変えていかないと、地域も変わらないと思う。</p> <p>児童生徒の減少により学校教育はどうあるべきか、小中一貫教育をどう進めるべきか、先進校を研修し課題は何か、先生も取り組んでいけば新しいもの、夢が見えてくるのではないか。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・江府町は令和4年度に義務教育学校なるという方向に進んでいると聞いている。準備期間は2年間、町がどういうテーマで進んでいくか、具体的な施設やカリキュラムをどうするか考えていかなくてはならない。 <p>保護者から完璧なものを目指して進んでほしいという意見もあった。</p> <p>大きな夢でも細かいところに配慮して決めてスタートすることが大事。</p>

会 長

- ・公民館で日野町出身の田淵行男企画展を開催したところ、県外も含めて600名の多くの人々が来られた。その原因は日野町から輩出されたこと、作品だけでなくその町を見に行きたいという方がたくさんあったことだと思う。子どもたちも見に来させたい、参加させたいという思いがある人がいるのではないかということを感じた。
一つ一つタイムスケジュールを組みながら、日野町はたくさん時間をかけてできるのではないかと思う。
- ・委員の方々の思いはほぼ一致していると思う。
日野町、日本の子どもをどのように育てていくか、夢を持たせていくかいつも考えておられるとつくづく感じた。
大人の責任として児童数減の現実をどうやって受け止めて、子どもたちの中で上手く組み合わせながら、子どもたちにとって学びが力になるような学校を目指していくべき。
- ・中学校のほうが生徒数の減少問題は先にくる。
町に学校を残し意味のある、夢のある学校にしようとする
と、30人になる時期を待ってはいけな
い。
小学校と中学校はどこかで同じ場所
で一緒になり、有効な予算をかけ
ながら力を伸ばしていくのがよい。
- ・中学校の美術は日南町と掛け持ち
のため、3時間しか授業がなく、
その先生が実力を発揮するには他
の学校に行くしかない。義務教育
学校になれば小学校で授業がで
きるかもしれない、福部未来学
園では体育の先生が小学校で教
えている。
音楽などもできると思うし、吹
奏楽部も部員が少ないので小学
生が入れば成り立つのではない
かと思う。
一つの学校として残せば、様々
な夢を実現できるのではない
かと考えている。
教員の配置は学級数、生徒数に
よって決められているので、義
務教育学校での教員配置は新し
くなっている可能性もあり、工
夫したり教育委員会の支援もし
やすくなると思う。
小学校と中学校が別よりも、一
体型の新しい学校を作っていく
ほうが大きな夢を実現できる
と思っている。
- ・良い教育をして情報をどんどん
発信することで、日野町に移住
する人も増えるかもしれない。
教育をもとに町を発展させて
いくことが大きな町の夢であ
る。
八頭町は3つの小学校が一つに
なり、「隼」がありバイクがた
くさん集まる所だが、できたば
かりの学校が廃校になって現
在はITのメッカとなっている。

<p style="text-align: center;">委 員 会 長</p>	<p>鳥取市から通う方が多く、IT 産業が入りカフェもでき、子ども連れの母親が食事したり遊んだりしている。残った学校の利活用と町の発展に繋がることを考えていかななくてはならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所についてはもう少し検討が必要だが、この町にとっては新しい学校を創ることが互いに夢を語って実現できる、努力できることだと思う。 ・どんな学校、教科にするかということは校長や教育委員会が決めることではなく、住民が一緒になって、PTA と共に検討委員会を作って討論を進めていくことである。 ・学校がなくなる地域にとっては大変なこともあるが、校舎を何かに活用することが町の役目として必要。 ・方向としては義務教育学校を目指すということによいか。 ・はい。 ・ただ中身はどうかということをお皆さんが心配されているので、次回以降踏み込んでいきたい。 <p>今年度あと 2 回予定しているが、事務局と相談して答申原案の原案を考えておきたい。次回はたぶん 12 月になると思うが日程調整し審議していただきたいと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(2) その他 なし
<p>8. その他</p> <p style="text-align: center;">課 長 会 長 委 員</p> <p style="text-align: center;">委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の委員からの意見を基にして、答申案の案を作成しようと思う。それを基にして次回議論を深めていただきたい。 ・次回までに事務局で準備する資料など希望があれば。 ・高校と小中が一緒になった事例があるかないか、なければ日本初という学校となるのか。財政的にお金をかけてというより、行政が動いた結果こうなったということがあれば面白いと思う。 <p>自分は廃校になった学校で山村キャビアを、という夢を語りたい側なので、県と市町村の教育委員会で何かあった、又はこれからしようとしているという全国の事例があれば知りたい。</p> <p>高校との連携、まちづくりの基本にかえたような事例があったら面白い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立の中高一貫校はあると思う。 <p>日野高校から日野中に橋をかけて、一貫校としたらという議論もあった。</p> <p>小中高一貫校は聞いたことはない。</p>

<p>会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <p>・10月1日から鳥取県の国際交流財団の理事長となり(副理事長は副知事)、先週、県の山本教育長に挨拶に行った。鳥取県は外国人の未就学児が3人おり、保護者や会社の問題に対して財団が通訳など手伝うことが出てくるので相談に伺った。</p> <p>今までの財団は特に韓国との子どもたちとの交流が多かったが、法律が変わり外国人の労働のための定住が可能となった。長く日本に住み、技術のある外国人は日本人と同じ給料がもらえる。その分トラブルも増え、そのようなことも国際交流財団の仕事となっている。</p> <p>その時に、日野町の校区審議会をしている、日野町には日野高校があると伝えた。寄宿舎の整備についても日野郡3町長が陳情をしている。県外から高校生を入れて日野高校を活発にしてほしい、場合によっては日野町から中学校と高校との連携の話が出るかもしれないということは言った。</p> <p>日野高校との連携は、江府、日南は距離的にしにくい、日野町が保・小・中・高と連携すれば、全国では初となるのではないか。最終的にそのようなことも考えていけば特徴のある学校が目指せると思う。積極的に夢を語って実現することがいいと思っている。</p> <p>・高田君は大学の教え子だが、その頃のモットーはまずやってみること、「レッツトライ」と言っていた。尻込みしていたら尻つぼみになるだけ。</p> <p>教育を糧として連携した活動をしていけば、町外、県外からも保護者が子どもを連れてくる可能性もあるのではないか。日野町の文化的な宝物はたくさんあるが、知られていない。発掘して知ることによって日野町を誇りに思う子が育つのではないかと思うし、町を支える子がいなくては大変なことになる。日野町は楽しくて、暮らしやすく、子どもを育てやすい町であること、5教科以外についても、得意な保護者の力を借りながらすばらしい学校ができたら良いと思う。</p>
------------	---

令和元年 10 月 8 日

日野町校区審議会